

ValueCleanIIシリーズ 取扱説明書

バリュー クリーン ツー

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

FP449S 16.12

安全上のご注意 (お使いになる前に必ずお読みください)

- ご使用前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

※用語および記号の説明は、施工説明書に記載された内容を、ご参照ください。

各部の名称と働き



<p>止水栓(※1) 水道水はここを通過してボールタップに行きます。保守・点検などで水を止めたり、給水量の調整を行うための弁です。</p>	<p>ボールタップ(※2) 水はここからタンクに入り、一定量たまると浮玉の浮力により自動的に水を止め、洗浄ハンドル操作と同時に自動的に給水を始めます。</p>	<p>ストレーナー(※3) ボールタップの中に配管内のゴミや砂などが入ると、故障の原因になります。これらのゴミや砂などがボールタップに入るのを防ぎます。</p>
<p>洗浄ハンドル(※4) フロート弁を持ち上げて、タンク内の水を便器内に流す役目をします。</p>	<p>フロート弁(※5) 洗浄ハンドルを操作することによりタンク内の水を便器内に流し、一定量流すと自動的に止水します。</p>	<p>オーバーフロー管(※6) 万一、不具合が生じて給水が止まらなくなったとき、タンクから溢れる前に、ここから便器の方へ水を流します。</p>

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

表示と意味

-  **警告** …… 死亡や重傷を負う可能性がある内容です。
-  **注意** …… 傷害や物的損害が発生する可能性がある内容です。
-  …… してはいけない禁止の内容です。
-  …… 必ず実行していただく強制の内容です。

 警告	
<p> 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしない。 ※故障したり、思わぬケガをする恐れがあります。</p>	<p> 便座などの樹脂部分にストーブやヒーターなど火気類を近づけない。 ※火災や故障、変色の原因になります。</p>
<p> タバコや灰皿などの火気類を近づけない。 ※火災や故障、変色の原因になります。</p>	<p> 電源は交流100V以外では使用しない。 ※交流200Vや直流電源を使用すると、火災や故障の原因になります。</p>
<p> 電源コードを折り曲げたり傷つけたり破損するようなことをしない。 ※火災や感電の原因になります。</p>	<p> 電源プラグや電気製品に水をかけたり、酸性やアルカリ性洗剤、シンナーなどを使用しない。 ※破損や火災・感電の原因になります。</p>
<p> 雷が発生しているときは、電源プラグに触れない。 ※感電の原因になります。</p>	<p> ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。 ※感電の原因になります。</p>
<p> コンセントにガタつきが無いことを確認の上、電源プラグは根元までしっかり差し込む。 ※コンセントのガタつきは、火災や感電の原因になります。</p>	<p> 電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部を持って抜く。 ※コードが破損し、火災や感電の原因になります。</p>
<p> お手入れの際は、電源プラグを抜いてから作業する。 ※感電の原因になります。</p>	<p> 電源プラグに付いた埃は定期的に取り除く。 ※火災や感電の原因になります。</p>

 注意	
<p> 便器に熱湯をかけない。 ※便器が割れる原因になります。</p>	<p> 給水フレキホースを無理に折り曲げたり、傷を付けたりしない。 ※漏水や作動不良の原因になります。</p>
<p> 便ふたや便座の上に乗ったり、重いものを乗せたりしない。 ※破損してケガをする恐れがあります。</p>	<p> 便器に強い力や衝撃を与えない。 ※破損してケガや漏水の原因になります。</p>

⚠ 注意

<p>⊘ 便器に汚物が付着したまま放置しない。 ※乾燥して取れにくくなる場合があります。 ※洗濯用ブラシで汚れを落とし洗い流してください。</p> 	<p>⊘ 便器には、汚物・トイレトペーパー以外のものは流さない。 ※便器が詰まり、汚水があふれて家財を汚す原因になります。</p> 
<p>⊘ 便器にヒビが入ったり、割れた場合は、絶対に破損部を触らない。 ※ケガをする恐れがあります。</p> 	<p>⊘ タンクが満水になるまで、水を流さない。 ※便器の詰りの原因になります。</p>
<p>❗ 便器が詰まった場合は、市販のラバーカップなどを使用して詰りを除去する。 ※詰まったまま水を流すと、汚水があふれて家財を汚す原因になります。</p> 	<p>❗ 便器や給水管・止水栓の表面に結露した時は乾いた布で拭きとる。 ※床にシミを作ったり、腐らせる恐れがあります。</p> 
<p>❗ ボールペン・くし・歯ブラシ・携帯電話などを便器に落とした場合は必ず拾い出す。 ※便器が詰まり、汚水があふれて家財を汚す原因になります。</p> 	<p>❗ 直射日光を当てない。 ※変色の原因になります。</p> 
<p>⊘ 芳香洗剤や薬品、瓶などは、タンクに入れない。 ※水量が減少し、便器や排水管の詰まりなどになり、汚水があふれて家財などをぬらす財産損害発生の恐れがあります。また、内部器具を傷めたり内部部品に当たり、止水、吐水不良になる恐れがあります。</p> 	<p>⊘ 手洗器で手を洗うときは、石鹸などを使用しない。 ※故障の原因になります。</p> 
<p>⊘ 手洗い鉢の中には、物を置かない。 ※手洗い鉢から水があふれたり、飛散して家財などをぬらす財産損害発生の恐れがあります。また、タンク内に物が落ちて便器が洗浄不良になる恐れがあります。</p> 	<p>⊘ 手洗器を外したまま使用しない。 ※タンクから水が噴出し、家財を濡らす原因となります。</p> 
<p>⊘ 芳香洗剤などを使用しない。 ※内部器具を傷め、止水不良などの不具合や水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の恐れがあります。</p> 	<p>❗ 凍結の恐れがある場合は、必ず凍結防止操作を行う。 ※凍結破損により室内浸水の原因になります。</p>
<p>⊘ 浴室など湿気が多い場所には設置しない。 ※感電・火災の原因になります。</p>	<p>⊘ 一度に大量のトイレトペーパーを便器に流さない。 ※便器が詰まり、汚水があふれて家財などをぬらす財産損害発生の恐れがあります。</p>
<p>⊘ 定期的に配管の周りを見て水漏れがないか確認する。 ※部品の劣化等による水漏れが発見できず、家財などをぬらす財産損害発生の恐れがあります。</p>	<p>⊘ お手入れに酸性・アルカリ性・塩素系洗剤、ベンジン、シンナー等の溶剤は使用しない。 ※故障・破損の原因になります。</p>

使いかた

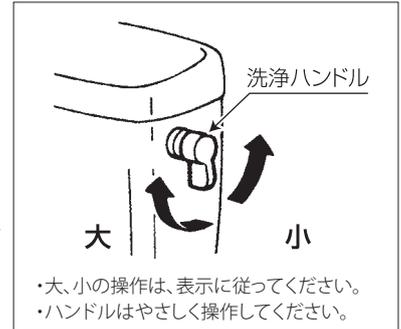
■便器内の洗浄方法

- 用便後、汚物を流す場合には洗浄ハンドルを矢印の方向に回してください。
「大」通常洗浄時にお使いください。
「小」小用の場合にお使いになると、洗浄水が少なくてすみます。
- トイレトーパーは便器内の水たまり面へ投入してください。

■断水したときの便器鉢内の洗浄のしかた

バケツ1杯(5~6L)の水を、水とびに注意しながら一気に流し込んで汚物を排出してください。最後に、便器内の水位が通常の高さになるように3~4Lの水を注いでください。
※うまく汚物が流れないときは流し込みをより早く(短時間に一気に)して、再度行ってください。

※小洗浄も同じように流してください。



注意

- 女性の小用の場合、「小」で使用されますと紙が流れない場合がありますので、「大」の方でご使ください。
- 前の洗浄から間を置かず次にを行うと、洗浄ができない場合があります。
このようなときは少し間をおき、タンク内に水が十分たまってから洗浄ハンドルを操作してください。
※手洗付きの場合で、吐水口から水が出ている時は、洗浄を避けてください。
- 汚物は個人差・体調によって異なります。汚物の量や状態によっては、便器水たまり面周辺、水中の陶器表面にも汚物が付着し、水のみでは洗い流せない場合があります。
- 汚物やトイレトーパーの量に応じ大洗浄小洗浄を使い分けてください。汚物の大きさや量、比重の違い、トイレトーパーの量によっては2度以上の洗浄が必要となる場合があります。
- 一度に大量のトイレトーパーを流さないでください。便器・排水管のつまりの原因となります。

お手入れのしかた

- 器具はお手入れ次第で、いつまでも美しさを保ち、長持ちさせることができます。
日頃からこまめにお手入れしてください。
なお、クレンザーやみがき粉などの研磨剤の入った洗剤は、表面を傷つけますので、使用しないでください。

■便器鉢内(陶器)のお手入れ

- 便器の洗浄面は水で洗われますが、便の状態によっては付着して落ちにくいことがあります。
そのまま放置しておくと、乾燥して取れにくくなりますので、汚れたらすぐに洗い流してください。汚れがひどい場合は、掃除用ブラシやスポンジに中性洗剤を含ませ、水またはぬるま湯で洗ってください。

■便座・便ふたなど(樹脂部)のお手入れ

- 水でぬらしたやわらかい布をよくしぼって拭いてください。
汚れがひどい場合は、中性洗剤を100倍程度に薄め、柔らかい布に含ませ、拭き洗います。
その後は、必ず水でぬらしたやわらかい布をよくしぼって拭いてください。

■止水栓(金属メッキ部)のお手入れ

- やわらかい布でカラ拭きしてください。時々マシン油やカーワックスなどを含ませた布でみがいてください。

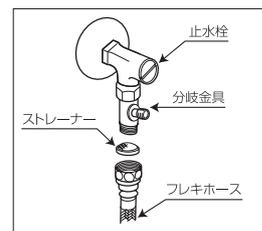


注意

- 熱湯は使用しないでください。
- ガラス質を侵すフッ素化合物の入った洗剤は使用しないでください。
- 表面を傷つける恐れのあるクレンザー、みがき粉、金属またはナイロンたわし、ブラシ等は使用しないでください。
- 酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー等の溶剤は使用しないでください。

■ストレーナーのおていれ

- 以下の要領でストレーナーのゴミを取り除いてください。
 - (1) 止水栓をマイナスドライバーで右に回し、給水を止めます。
 - (2) フレキホースの袋ナットをスパナなどでゆるめ、取り外します。このとき、布きれなどで金具を保護してください。
※止水栓内には水が溜まっていますので容器で水を受けてください。
 - (3) 止水栓の入り口に組み込まれているストレーナーを取り外して、掃除します。
 - (4) ストレーナーの掃除後、元のように取り付けてフレキホースの袋ナットを締め付けます。
 - (5) 止水栓を開き漏水確認をしてください。



■結露について

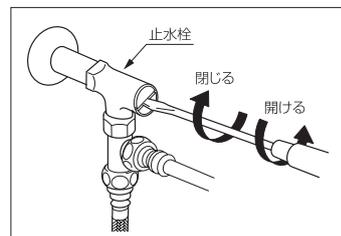
- 温度と湿度の条件により、便器や止水栓などに結露することがあります。結露を防ぐには換気を十分に行うことが効果的です。結露が生じた場合は、乾いた布で拭きとってください。床のシミや腐食の原因になります。

長期間使用しない場合

- 旅行等で長い間使用しないときは、万一の故障や水漏れをふせぐために以下の操作を行ってください。

■止水栓を閉じる

- 止水栓をマイナスドライバーやコインで右方向に回して閉じ、ロータンクへの給水を止めます。
※止水栓は施工時に給水量を調整しています。再使用時に元の位置に戻してください。閉じる時に回した角度を確認しておき、開けるときに同じ角度で戻してください。
- 水道配管に水抜き栓が設置されている場合は水抜き栓の操作も併せて行ってください。

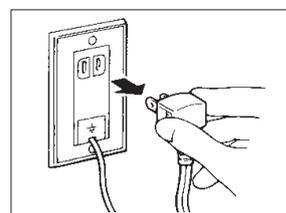


■タンク、便器鉢内の水を抜く

- 凍結の恐れがある場合、洗浄ハンドルを操作してタンク内の水を抜いてください。
※タンク内の水がなくなるまで洗浄ハンドルを回した状態で保持してください。
- 凍結の恐れがある場合、便器鉢内の水を汲み出してください。

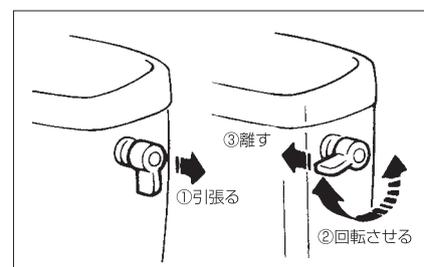
■電源プラグを抜く

- コンセントから電源プラグを抜きます。
※電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部を持って抜いてください。



凍結防止について

- 標準式便器の場合は、室内を暖房してロータンク内や便器内の溜水を凍結させないようにしてください。
※水抜き式タンクとヒーター付き便器を併用する場合、室内暖房の必要はありません。
- 水抜き式タンクの場合の洗浄ハンドル操作方法
※操作する前に、水抜き栓で給水を止めてください。
 - ①ハンドルを横に引張ります。
 - ②ハンドルを手前に約90度回転させます。
 - ③内側に戻し、ロックされていることを確認します。



- ヒーター付き便器をご使用の場合は、ヒーターの電源プラグをコンセントに差し込んでください。
※凍結の恐れのないときは、電源コードを抜いてください。
- 止水栓を閉じ、タンク内の水を抜いてください。
- 水道配管に水抜き栓が設置されている場合は、水抜き栓の操作を行いタンク内の水を抜いてください。
- 温水洗浄便座の温水温度を高め設定してください。

■トイレ内の使用限界温度について

凍結防止をしていただいても、下記条件からはずれると凍結する恐れがありますのでご注意ください。

- ヒーター水抜き併用式便器の場合 …… -15℃以上
- 上記以外の便器 …………… 0℃以上
※環境条件により使用限界温度が変わることがあります。
※温水洗浄便座をご使用の場合は0℃以上です。

調整方法

●器具は、出荷時および施工時に調整してありますが、不具合があったり何かの都合で動かした場合、機能を十分に発揮できるように、調整をしてください。

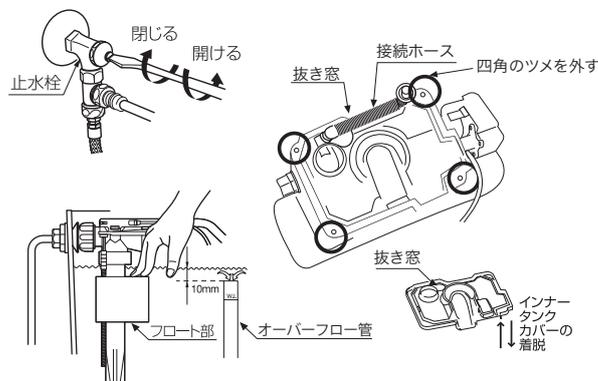
※便器性能を確保するため配管の環境に応じて設置時に洗浄水量の調整を行ってください。

● [給水量の調整] → [止水位置の調整] の順番で同時に行ってください。

■ [給水量の調整]

●万一、ボールタップの故障で水が止まらない場合でも、タンクから水が溢れないようにするために、必ず給水量を調整してください。

- (1) 止水栓を閉じ、インナータンクカバーを外します。
※インナータンクカバーの四角のツメを順番に外していきます。
- (2) 手洗付き便器の場合は、手洗吐水管への接続ホースをタンク内に向けて入れ、水が飛び出さないようにしてください。
- (3) フロートを押し下げながら、止水栓を徐々に開きます。
- (4) この状態で、水面がオーバーフロー管の上端より10mm以上上昇しない程度に、止水栓の開きを調整します。

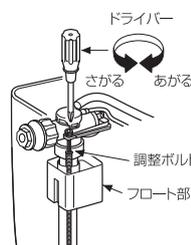


■ [止水位置の調整]

●給水量を調整した後、タンクに給水し、止水位置がオーバーフロー管に表示されているW.L.に合うように、フロートを上下させて調整してください。
※壁排水の場合は3以上に調整してください。

【フロートの移動方法】

調整ボルトを右に回すと水位が上がり、左に回すと水位が下がります。

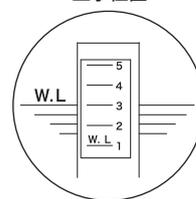


調整範囲	
陶器タンク	W.L. 3~5
樹脂タンク	W.L. 3~5

水量の目安

(水圧0.2MPaの時)
W.L. 大洗浄 小洗浄
5 → 約7.5L 約6.5L
3 → 約6.0L 約5.0L

オーバーフロー管 止水位置



修理を依頼される前に

現象	原因	処置
便器が詰まった	便器に紙や汚物が詰まった。	ラバーカップを使用し、詰まりを取り除きます。 (1) 便器排水口をふさぐようにしてラバーカップを静かに押しつけます。 (2) 勢いよく手前に引いたり、排水口に向けて押し付けたり、数回繰り返します。 このとき、透明ビニールシートなどでカバーしておくことで汚水の飛び散りを防ぐことができます。 
ロータンクへの給水時間が長い	止水栓が十分開いていませんか。 ストレーナーが目詰まりしていませんか。	止水栓をマイナスドライバー等で左に回して全開にし、1/4回転程度戻します。 ストレーナーの掃除をします。(3ページ参照)
水の流れが悪いまたは、汚物がよく残る	止水栓が十分開いていませんか。 ストレーナーが目詰まりしていませんか。 トイレットペーパーを多めに流していませんか。	止水栓をマイナスドライバー等で左に回して全開にし、1/4回転程度戻します。 ストレーナーの掃除をします。(3ページ参照) 女性の小用で紙をたくさん使用した場合、小洗浄で使用されますと紙が流れない場合がありますので、大洗浄の方でご利用ください。(3ページ参照) 1度に流すトイレットペーパーの量は、大洗浄では5m程度を目安にしてください。
便器内に水が流れ続ける(水が止まらない)	補給水ではありませんか。	洗浄してから5分以内に水が止まるようでしたら、故障ではありません。 便器の溜水を確保するための補給水です。
洗浄時に、洗浄した水がはねる	便器は勢いよく水を流し、汚物を排出する必要があります。そのため水と木がぶつかり水がはねる場合があります。	
用便時に水がはね返る(おつり)	便器に水たまりがあることが原因ですが、下水からの臭気を遮断したり、汚物の付着を防ぐための大切な役割があるため構造上避けられない現象です。	あらかじめ、トイレットペーパーを浮かせてご利用いただければ軽減できます。
子供の便が付着して落ちない	幼児や児童等の身長が低い方がご使用になると、着座位置が浅くなり、水面の外側に便が落ちて付着するため、便器洗浄しても落ちない場合があります。	
手洗い水が少ない	止水栓が十分開いていませんか。 ストレーナーが目詰まりしていませんか。	止水栓をマイナスドライバー等で左に回して全開にし、1/4回転程度戻します。 ストレーナーの掃除をします。(3ページ参照)
バリウムが流れない	バリウムなど水に溶けにくく、重いものは1度の洗浄では流しきれない場合があります。	便器内に残ったバリウムおよび汚物をトイレブラシなどで細かくしたあと数回洗浄してください。

アフターサービスについて

■アフターサービスのお問い合わせ（フリーダイヤル）

 **0120-117-817** 受付時間／9:00～18:00 365日

■点検・修理の依頼について

より安全にご利用いただくために、次の場合はお買い求め取次店または、最寄りの当社支店・営業所にご相談ください。

- 取扱説明書どおりに使用しても、ご不明な点や異常があるとき
- コードの傷みやコンセントのガタツキ
- コンセントやプラグの加熱

また、下記のような場合は、定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。

- ご使用上支障がなくても、長くお使いいただいているもの
- 温泉地域など、特に腐食を起こしやすい所で使用されているもの

【連絡していただきたい内容】

- 1.ご住所・お名前・電話番号
- 2.品名・品番・取付日（保証書内容をご覧ください）
- 3.故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）
- 4.訪問のご希望日

■保証について

この商品には保証書が付いています。

- 保証書は、記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、取付日より2年です。

なお、保証期間でも、有料となることがありますので、保証書の記載事項をよくお読みください。

- 保証期間中の修理などアフターサービスについて、ご不明な点がございましたら、お買い求めの取扱店または、当社（支店・営業所）にお問い合わせください。

■保証期間中に修理を依頼される時

- もう一度本書をおよく読みいただき、ご確認のうえ、なお異常があるときは、お買い求めの取扱店または、当社（支店・営業所）にご相談ください。

■保証期間経過後に修理を依頼される時

- お買い求めの取扱店または、当社（支店・営業所）にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により修理いたします。

保証書

本書は、本書載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書ご提示の上お買い求め取扱店に修理をご依頼ください。

品名：	保証期間	取付け・引渡し日より 2年：全般
品番：		取付け・引渡し日より 5年：特定機能等 (別表による)
お客様 お名前	取付け・引渡し日 年 月 日	
ご住所 電話番号	取扱店	

別表

品名	特定機能等
便器	①防水機能
湯水混合水栓	①水栓の胴体部
洗面化粧ユニット	①洗面器の防水機能 ②水栓の胴体部 ③キャビネット本体の剛性
洗濯機用防水パン	①防水機能
洗面器・手洗器	①洗面器・手洗器の防水機能 ②水栓の胴体部

- 注) 1. 防水機能の保証は、例えば便器や洗面器などの水受け容器のひび割れによる水漏れ等の場合に適用されます。
2. 水栓の胴体部の保証は、例えば水栓本体のうち、接続部を除く弁箱の腐食、ひび割れによる水漏れ等の場合に適用されます。
3. キャビネット本体部の剛性の保証は、例えば本体各部の接合部や構成部材の破損に適用されます。

無料修理規定（保証規定）

- 「取扱説明書」「製品貼付ラベル」などの注意書にしたがった正常な使用状態で故障した場合、表記の期間無料修理いたします。
- 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店に依頼のうえ、本書をご提示ください。
- ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理をご依頼できない場合は、「取扱説明書」に記載の最寄りの当社支店・営業所にご相談ください。
- 保証期間内でも、次の場合には有料修理とさせていただきます。
 - ①住宅用途以外で使用した場合の不具合
 - ②お客様が適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合
 - ③施工説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合
 - ④建築躯体の変形など本製品以外の不具合に起因する不具合
 - ⑤塗装の色あせ等の経年変化または使用にともなう摩耗等による外観上の不具合
 - ⑥海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
 - ⑦ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
 - ⑧火災・爆発事故、落雷・地震・噴火・洪水・津波等天変地異または戦争・暴動等破壊行為による不具合
 - ⑨消耗部品の劣化による不具合
 - ⑩配管への異物混入に起因する不具合
温泉水、井戸水など水道法に定められた飲料水の基準に適合しない水を給水したことによる不具合
寒冷地仕様でない場合の凍結による不具合
指定規格以外の電源を使用したことによる不具合
電気・給水供給のトラブル等に起因する不具合
- 本書の取付け・引渡し日、取扱店、お客様の欄に記載のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合は無効となります。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

※本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な点がある場合は、お買い求めの取扱店または当社支店・営業所にお問い合わせください。

※本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

ジャニス工業株式会社

本社 〒479-8577 愛知県常滑市唐崎町2丁目88番地 ☎〈0569〉35-3151